(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-170251
(P2004-170251A)
(43)公開日　平成16年6月17日(2004.6.17)

(51)Int.Cl.[7]	F I		テーマコード（参考）
G01R 11/04	G01R 11/04	F	
	G01R 11/04	E	

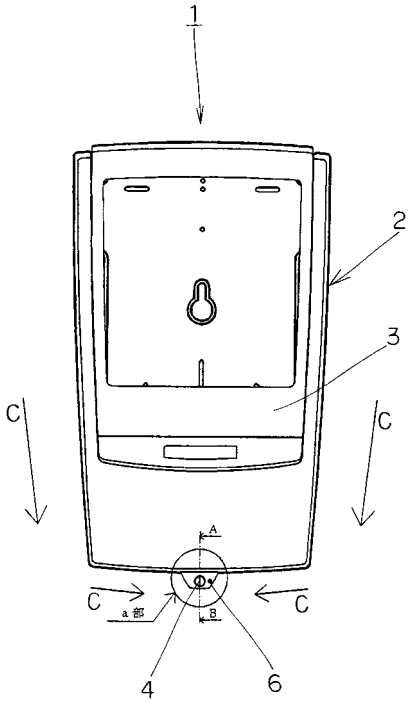
審査請求 未請求　請求項の数 1　ＯＬ　（全 5 頁）

(21)出願番号　特願2002-336592(P2002-336592)
(22)出願日　平成14年11月20日(2002.11.20)

(71)出願人　000124591
河村電器産業株式会社
愛知県瀬戸市暁町３番８６
(72)発明者　大塚　裕文
愛知県瀬戸市暁町３番８６　河村電器産業株式会社内

(54)【発明の名称】ワットメータボックスの水抜き穴

(57)【要約】
【課題】本発明は、簡単な構造で、外観を損ねず、水抜きの機能を持たせたワットメータボックス１を提供することを目的としている。
【解決手段】本発明に係るワットメータボックス１は、カバー３の上面の略中央部を頂点に全体に丸みを持たせると共に、基台側の封印部２ａとカバー側の封印部３ａとの間に水抜き穴７を設け、上方からの雨水等を水抜き穴７から滴下させ、簡単な構造で外観を損ねることなく水抜きを行うことを特徴とする。
【選択図】　図１



【特許請求の範囲】
【請求項１】
ワットメータ等の機器を載置する基台をカバーで被覆し、前記基台とカバーは封印可能であるように下部に封印部を設けて成るワットメータボックスにおいて、前記カバーの上面の略中央部を頂点に全体に丸みを持たせると共に、前記基台側の封印部と前記カバー側の封印部との間に水抜き穴を設け、上方からの雨水等を前記水抜き穴から滴下させることを特徴とするワットメータボックス。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、ワットメータ等の機器を載置する基台をカバーで被覆し、基台とカバーは封印可能であるように下部に封印部を設けたて成るワットメータボックスに関する。
【０００２】
【従来の技術】
従来、ボックスの水抜き穴は、特開２０００－２２３４３号に示されるように、カバーの下部に設けられていた。また、ワットメータボックス２１においては、図５～図６に示すように、カバー２２の下面に水抜き穴２３を設け、ワットメータボックス２１の上方からの雨水等をこの水抜き穴２３より排水させていた。
【０００３】
【発明が解決しようとする課題】
しかしながら上記従来技術によれば、ワットメータボックス２１は、比較的高い位置に設置されることが多く、カバー２２下面に設けられた水抜き穴２３は、目につきやすく、ワットメータボックス２１の外観を損ねていた。また、突起物を差し込むなどのいたずらの虞があった。
【０００４】
【課題を解決するための手段】
そこで本発明は、簡単な構造で、外観を損ねず、水抜きの機能を持たせたワットメータボックスを提供することを目的とし、その構造は、カバーの上面の略中央部を頂点に全体に丸みを持たせると共に、基台側の封印部とカバー側の封印部との間に水抜き穴を設け、上方からの雨水等を水抜き穴から滴下させることを特徴とする。
【０００５】
【発明の実施の形態】
本発明に係るワットメータボックスは、ワットメータ等の機器を収納し、家屋の外壁に取り付けられる。ワットメータボックスは、全体的に丸みを帯びたデザインとし、雨水等はワットメータボックスの上方より下面に集中させ、ワットメータボックスの下面に設けられている封印部と封印金具との間の隙間より水を抜くものである。
【０００６】
【実施例】
本発明に係るワットメータボックスの実施例を図１～図４の添付図面に基づいて説明する。
【０００７】
ワットメータボックス１は、ワットメータ等の機器を載置する略平板状の基台２と、機器と基台２を被覆するカバー３とで構成される。ワットメータボックス１は、設置後、カバー３が容易に外せないように封印可能に封印部を形成している。基台２には基台側封印部２ａを、カバー３にはカバー側封印部３ａを設け、それぞれの封印部２ａ、３ａには封印ピン挿通孔４を設け、封印ピン５を封印ピン挿通孔４に挿通し、封印ピン５と封印部２ａ、３ａに設けられた封印穴６とをワイヤ等で結びつけ封印する。
【０００８】
ワットメータボックス１は、全体に丸みを帯びたデザインとし、雨水等はワットメータボックス１の上方より、矢印Ｃに示すようにワットメータボックス１の周囲を伝って下部の

封印部２ａ、３ａに集中する。基台側封印部２ａとカバー側封印部３ａとの間には水抜き穴７を形成し、雨水は水抜き穴７から排水する。

【０００９】

図２におけるＤ部は、従来水抜き穴を設けていた位置であるが、本発明では水抜き穴はこの位置に設けられず、ワットメータボックス１の外観を損なうことがない。

【００１０】

【発明の効果】

以上述べたように本発明に係るワットメータボックスは、カバーの上面の略中央部を頂点に全体に丸みを持たせると共に、基台側の封印部とカバー側の封印部との間に水抜き穴を設け、上方からの雨水等を水抜き穴から滴下させるため、ワットメータボックスの外観を損なうことなく目立たないように水抜き穴が設けられ、デザイン性を重視したワットメータボックスには特に大きな効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明に係るワットメータボックスを示す正面図である。

【図２】本発明に係るワットメータボックスを示す下面図である。

【図３】図１におけるＡ－Ｂ断面図である。

【図４】図１におけるａ部裏面図である。

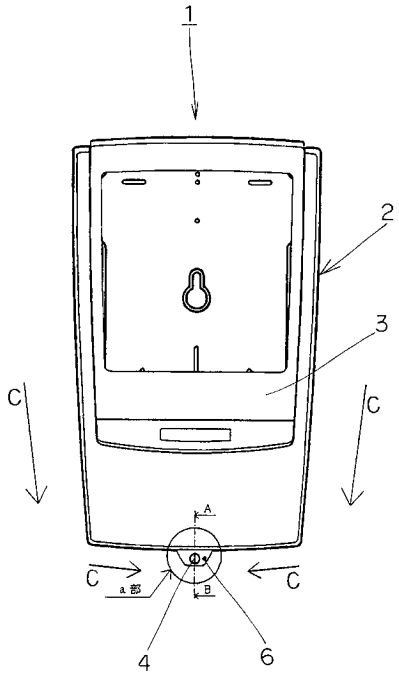
【図５】従来技術におけるワットメータボックスを示す正面図である。

【図６】従来技術におけるワットメータボックスを示す下面図である。

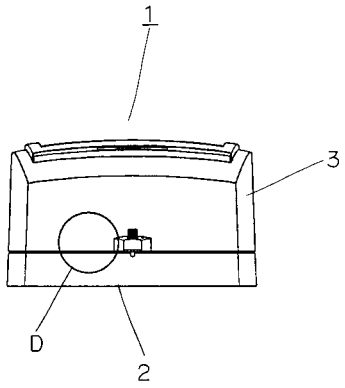
【符号の説明】

１　ワットメータボックス
２　基台
２ａ　基台側封印部
３　カバー
３ａ　カバー側封印部
４　封印ピン挿通孔
５　封印ピン
６　封印穴
７　水抜き穴

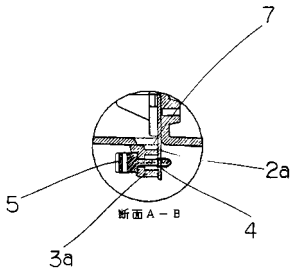
【図１】



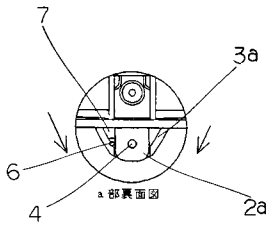
【図２】



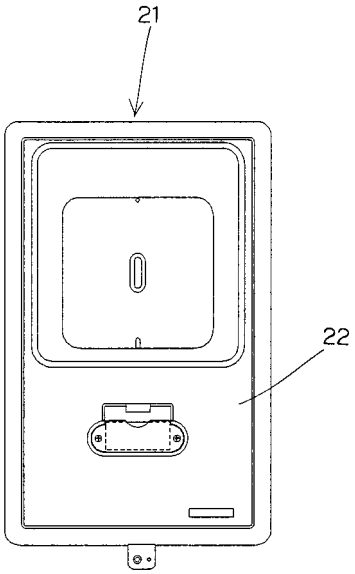
【図３】



【図４】



【図５】



【図６】

